

旭川市報道依頼

各報道機関 様

KJ00075139

2023年5月18日

発信課	経済部産業振興課
担当者	茂木 雅人
連絡先	電 話 内線5520
	F A X
	E-mail m_moki@city.asahikawa.lg.jp

分 類	イベント・行事 <input checked="" type="checkbox"/> 募集 <input type="checkbox"/> 契約・入札 <input type="checkbox"/> 会議・説明会 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>
日 程	令和5年6月21日（水）14:00～17:00
発表項目 （行事名）	デザイン創造都市旭川シンポジウムの開催について
概 要 （趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「持続可能な未来をデザインする」をテーマにした，専門家による講演，パネルディスカッションを開催します。 ・ 日時 令和5年6月21日（水）14:00～17:00 ・ 会場 旭川市公会堂（常磐公園） ・ 内容 第1部 基調講演 パオラ・アントネッリ氏 （MoMAシニアキュレーター） 第2部 パネルディスカッション（添付参照）
添付資料	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
報道（取材）に当 たってのお願い	報道の際にご不明点があれば産業振興課（65-7047）までお問い合わせください。
備 考	

リアル参加
オンライン参加会費 2,000円
[事前申込制]

CITY OF DESIGN ASAHIKAWA SYMPOSIUM

デザイン創造都市旭川シンポジウム

2023 6.21 WED 14:00-17:00

会場／旭川市公会堂(旭川市常磐公園1971-5) + オンライン配信

定員／リアル参加：700名、オンライン参加：無制限

主催／あさひかわデザインウィーク実行委員会 共催／旭川市、東川町

ユネスコデザイン都市・旭川の「あさひかわデザインウィーク」は、北国の豊かな自然を背景に、デザインを通して未来を考えそれを発信する場です。シンポジウムでは、「持続可能な未来をデザインする」をテーマに、前半はニューヨーク近代美術館[MoMA]シニアキュレーターのパオラ・アントネッリ氏にお話しいただき、後半では幅広い分野の専門家によるディスカッションを行います。

第1部

14:00-15:00

基調講演

講師／パオラ・アントネッリ (MoMAシニアキュレーター)

Paola Antonelli

パオラ・アントネッリ

ニューヨーク近代美術館の建築およびデザインのシニア・キュレーター兼研究開発部門のディレクター。デザイン、建築、芸術、科学、テクノロジーなどを組み合わせ、見過ごされがちな日常的なできごとに対するデザインの影響について研究を続ける。また、デザインの良い影響が世界に広く認められることを目指し、その理解促進のため奔走している。最近手がけた展覧会には、「第22回ミラノ・トリエンナーレBroken Nature」、「MoMA's Material Ecology—建築家ネリ・オックスマンの画期的な作品」、「Never Alone—ビデオゲームとインタラクティブ・デザイン」がある。より良い未来を描くデザインの力に関する調査研究への情熱は冷めやらず、デザイン評論家のアリス・ローストーンと共同で設立したDesign Emergencyを、インスタグラム、書籍、さらにはポッドキャストにて展開中。



Photo: Marton Perlaki

第2部 15:30-17:00
パネルディスカッション

持続可能な未来をデザインする — 森・都市・文化・産業・教育の新たな座標系 —

20世紀の方法論では解決できない問題が山積する今日、いち早く課題を見つけその解決策を広く世界と共有し実践するには、デザインが大きな役割を果たすのではないか。自然あふれるユネスコ・デザイン都市あさひかわを舞台に、各分野のリーダーたちが多様な視座から「持続可能な未来への道しるべ」を模索します。

パネリスト／森 俊子(ハーバード大学大学院教授)、岩佐 十良(株式会社自遊人代表取締役)、馬奈木 俊介(九州大学大学院教授)
モデレーター／川上 典季子(デザインジャーナリスト)

Toshiko Mori

森 俊子

ニューヨークのToshiko Mori Architect PLLC建築事務所の代表。クーバーユニオン建築科卒業。1995年にハーバード大学院デザインスクール教授就任。TENURE(終身教授職)取得、2002年より2008年まで同建築学部の学部長。2017年アメリカ建築協会最優秀賞、2019年度アメリカ建築教育協会から最優秀建築教育家に渡されるトーパーズメダル、ARCHITECTURE RECORD 誌女性建築家のデザインリーダー賞、第1回フランスFIBRAアワードグランプリなど受賞多数。フランスDASSAULT SYSTEME社外取締役、フィンランド文化振興国際委員。



©Ralph Gibson

Shunsuke Managi

馬奈木 俊介

九州大学主幹教授、都市研究センター長、総長補佐。農林水産政策研究所客員研究員、経済産業研究所ファカルティフェローを兼任。第16回日本学術振興会賞受賞。第25期日本学術会議会員。国連「新国富報告書」代表、国連「持続可能な開発に関するグローバル・レポート(SDGs報告)2023」評議員、国連「持続可能性のための新しい資本」円卓会議委員、IPCC代表執筆者、IPBES統括代表執筆者、世界環境資源経済学会共同議長などを歴任。



Toru Iwasa

岩佐 十良

1967年、東京生まれ。大学在学中に会社を創業し、のちに編集者に転身。2000年、雑誌「自遊人」を創刊。2014年、新潟大沢山温泉にオープンした『里山十帖』では、総合ディレクションを担当し「グッドデザイン賞BEST100」を受賞。2018年に宿泊施設、「商店街HOTEL 講 大津百町」(滋賀県大津市)、「箱根本箱」(神奈川県箱根町)、2020年「松本十帖」(長野県松本市)を開業。2016年~18年、2021年より再び、グッドデザイン賞審査委員に着任。多摩美術大学客員教授。



Noriko Kawakami

川上 典季子

21_21 DESIGN SIGHTアソシエイトディレクター。株式会社アクシスにて「AXIS」編集部所属後、1994年よりデザインジャーナリストとして活動。2007年より21_21 DESIGN SIGHTアソシエイトディレクターとして展覧会企画にも関わり、同館以外でも「London Design Biennale 2016」日本公式展示キュレトリアル・アドバイザー、パリ装飾美術館「ジャポニスムの150年展」(2018年)ゲストキュレーター等。武蔵野美術大学客員教授、多摩美術大学理事。



お申し込みはこちらから

Peatixのネット決済でご購入いただけます パソコン、スマートフォンなどからお申し込みください。

Peatixから申し込まれたチケットは、スマートフォンアプリに表示されます。紙のチケットは発行されず、スマートフォン画面がそのままチケットとなります(パソコンから印刷可能)。
Peatixの詳しいご利用方法はPeatix公式サイトヘルプ「初めてご利用される参加者様向け/Peatixご利用の流れ」をご覧ください。



リアル参加申込



オンライン参加申込



※紙のチケットご購入の方は、Peatixからのお申込は不要です。

[お問い合わせ]

あさひかわデザインウィーク実行委員会事務局 (一般社団法人北海道デザインラボ内 担当/江口)

TEL 0166-74-3355 FAX 0166-23-3005 E-mail adw@adwhokkaido.com WEB ADWhokkaido.com

